

# 漁業一筋、30歳代で一家の大黒柱に。

大瀬戸町漁業協同組合 大瀬戸太郎（仮名）さん 30歳代

漁業暦18年

大瀬戸さんは、延縄漁業とたこつぼ漁業の2本立てで操業されています。

大瀬戸太郎(仮名)さんの所属する大瀬戸町漁協は長崎県西海市にあり、漁場である「五島灘」は、潮の流れが速く、プランクトンが豊富な好漁場として知られています。主な漁業は1本釣、延縄、たこつぼです。イサキ、イトヨリ、マダイ、クエなど多くの魚種が漁獲され、なかでもアラ(クエ)やマダコなどは長崎県でも有数の産地となっています。またマダコは肉厚で身が引き締まり、「えべす蛸」のブランド名で高評価を得ています。近年高齢化が進んでいるものの、他地区に比べれば30歳～40歳代の中堅漁業者の割合が比較的多く、その中でも太郎さんは30歳代半ばながら将来の大瀬戸地区を支える漁業者の一人として将来を期待されています。



## 経歴

18歳 漁業スタート

高校卒業後、父親の船に乗船し延縄(れんこだい、いとより等)、たこつぼ、ふぐかごを開始。

20歳～

父親から一人での操業を任されるようになる。

30歳～ 沖の操業を任される。

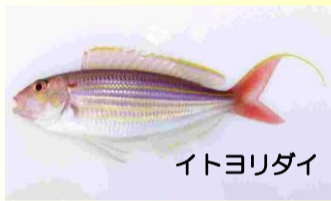
父親から沖合いの操業を任されるようになる。沿岸で操業する父に代わり、一家の大黒柱に成長。

## 大瀬戸太郎（仮称）さんの一日

### ○延縄漁業（概ね朝4時～17時頃）

主な魚種：イトヨリダイ、レンコダイ、アマダイ、マダイ

- 出港は朝4時。漁場は漁模様によって異なり、近いところで片道30分、遠方になると2時間程度。
- 帰港の時間は漁場によって異なるが、概ね16時頃。
- その後漁獲物の荷揚げ等があり一日の仕事が終わるのは17時ごろだが、漁場が遠くなると20時過ぎとなることもある。
- 春先のマダイ時期は漁場が近いので帰港は15時ごろ。



イトヨリダイ



レンコダイ



アマダイ



○延縄

### ○たこつぼ漁業（概ね朝4時～15時頃）

魚種：マダコ

- 出港は朝5時頃。漁場は片道10分から遠くても1時間程度と近く、午後1～2時には帰港し、荷揚げが終わると一日の仕事が終わる。



たこつぼ

### ◎年間の操業スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
延縄	いとより、れんこだい、あまだい			またい			いとより、れんこだい、あまだい					
たこつぼ					まだこ							
曳縄（タチ曳）	たちうお											たちうお

※タチウオ曳縄の漁期は延縄とほぼ同時期。延縄の漁模様と比較し、収益の上がる方を操業するが、近年タチウオの漁獲量が少なく、タチウオはあまり操業しなくなっている。

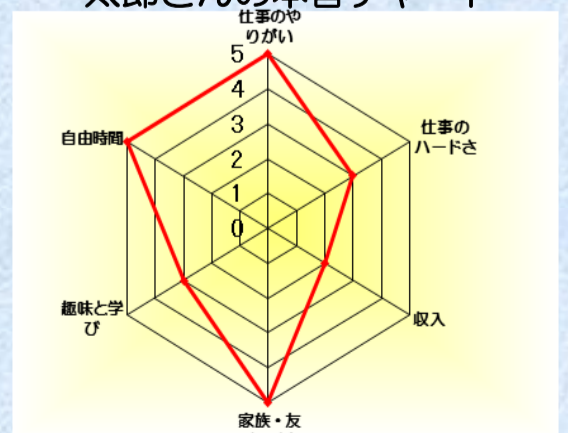
### 地域活動など

- 大瀬戸町漁協青壮年部所属
- 長崎県漁協青壮年部連合会県南1区青年部連合会 元会長
- 長崎県知事が認定する青年漁業士。長崎地区漁業士会所属。

### 漁業を目指す方へのアドバイス等

- 安易に釣りだけで生活できるなどと考えないこと。
- 地域活動へ積極的に参加するなど、地域に溶け込む努力をすること。
- 漁師どうしはライバルでもあり、大事な仲間でもある。海上での安全確保やトラブルのない操業のため、お互いに助け合える人間関係をしっかり築くこと

### 太郎さんの本音チャート



「収入はさほど多くはないけれど、自由時間が多く、家族・友人関係にも恵まれ、何よりも仕事を任せられやりがいを感じているのが大きな喜びです。」